

〈午後 2 時 0 4 分 休憩〉

〈午後 2 時 1 5 分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。〔11番 保坂 悟君登壇〕

○11番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、子ども・子育て支援（子ども行政）について。

(1) 仮称「糸魚川市子ども条例」の制定について。

子どもたちの権利と大人の責任を明確にするために、条例制定を行う考えはあるか。

(2) ヤングケアラーについて。

昨年3月、公明党伊藤孝江参議院議員が国会質問で取り上げて、国や県が動いたが、当市の取組状況はどうなっているか。

(3) 生理の貧困について。

昨年3月、公明党佐々木さやか参議院議員が国会質問で取り上げて、全国の自治体の生理用品の無償配布や学校トイレに生理用品の無償配置などが進んだが、当市の取組状況はどうなっているか。

(4) 糸魚川市で子育てがしたくなる施設整備について。

① 保育園等の汚れた外壁について工夫する考えはあるか。

② 屋内遊戯場と理科教育施設を設置する考えはあるか。

③ 発達障害等の専門的な相談施設の設置を考えているか。

④ 駅北子育て支援施設について、子育て世代から喜ばれる施設を第一に追求する考えはあるか。

2、行政改革について。

(1) 指定管理者と第三セクターの会計について。

① 専門家による会計のチェック方法を研修する考えはあるか。

② 説明資料について費目、摘要、書式を統一する考えはあるか。これは議会に対する資料等のことを指しております。

③ 雇用調整助成金の給料明細の実態について確認をしているか。

④ 「不可抗力」のリスク分担の算出方法を確立しているか。

(2) 市職員の職場環境整備について。

- ① パワハラ抑止の観点から、理事者や市議会議員との会議や相談の際は、常に録音と録画ができるルールとする考えはあるか。
- ② 公益通報の職員周知は徹底しているか。
- (3) リトルベビーハンドブックの導入について。

小さく生まれたお子様のための母子手帳をめぐる国や県は動いている。市は県の暫定版を受けて、どのような親子手帳を考えているか。

この親子手帳に関しましては、今年、厚生労働省のほうから母子手帳を親子手帳というふうに変える方針が出ているからであります。
- (4) 動物愛護の推進について。
  - ① 多頭飼育について各課横断的な対応で把握しているか。
  - ② ペットのマイクロチップ装着の推進は行っているか。
  - ③ 地域猫の不妊手術に助成を行う考えはあるか。

### 3、交流人口拡大について。

- (1) 権現荘で行われた「親子ワーケーション」について。
  - ① 児童を受け入れられる小学校は幾つあるのか。
  - ② 民間宿泊施設による「親子ワーケーション」は可能か。
- (2) 「道の駅」の今後の展開について。
  - ① マリンドリーム能生、親不知ピアパーク、越後市振の関のリニューアル計画はあるか。
  - ② フォッサマグナパークや合名会社渡辺酒造店の水路またぎで「ブラタモリ効果」が出ている根知地区で、松本糸魚川連絡道路を意識した「道の駅」をつくる考えはあるか。
- (3) 青海シーサイドパークと須沢臨海公園について。
  - ① 多目的広場の入口は、道路から傾斜と雑草があり危険である。幅の広い階段やスロープ、手すりを設置する考えはあるか。
  - ② 堆積砂を観光資源として利活用する考えはあるか。これは海岸の砂であります。
- (4) ピアタウン青海多目的施設ほっこり館について。
  - ① 地産地消の6次産業の拠点にする考えはあるか。
  - ② 高齢者が楽しく働く場所として工夫する考えはあるか。

### 4、地方創生臨時交付金の緊急対策について。

今年4月26日に公明党の強い要請により、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充し、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が創設された。糸魚川市の対応について伺う。

- (1) 生活支援事業について。
  - ① 学校給食、介護施設の食事等の負担軽減を考えているか。
  - ② 生活困窮世帯に1世帯当たり10万円の給付を考えているか。
  - ③ 水道料金をはじめ、公共料金の負担軽減を考えているか。
- (2) 産業支援事業について。
  - ① バス・タクシーなど地域公共交通の経営支援を考えているか。
  - ② トラックなど地域の物流の維持に向けた経営支援を考えているか。

- ③ 事業者における水道料金をはじめ、公共料金補助を考えているか。
- ④ 農林水産業の経営支援を考えているか。

(3) 福祉支援事業について。

- ① 担当人数が多い民生委員のサポート制度の創設の考えはあるか。
- ② デジタルデバインド（情報格差）の実態調査の考えはあるか。
- ③ 今夏、エアコン不足が想定されるが、熱中症対策の考えはあるか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしくお願ひいたします。

2番目の1点目の1つ目につきましては、よい研修があれば取り入れていきたいと考えております。

2つ目につきましては、施設ごとに異なる部分もありますが、可能な限り統一できるよう検討してまいります。

3つ目につきましては、個人情報となるため確認いたしておりません。

4つ目につきましては、スキー場において、少雪の場合の算出方法については定めておりますが、その他のケースにおいては、これまで状況に応じて、指定管理者との協議によりまして、算出いたしております。

2点目の1つ目につきましては、パワーハラスメントなどの抑止のための録音等を行うことは、手段の一つと考えますが、慎重な対応が必要であると考えております。

2つ目につきましては、本年2月に策定いたしました糸魚川市コンプライアンス行動指針の全職員に対して、研修の際に公益通報について周知を行っております。今後も職員研修等を通じて、周知徹底を図ってまいります。

3点目につきましては、現在の母子健康手帳は、国が定める様式を使用しており、新潟県版リトルベビーハンドブックは、市町村の相談先などを掲載される予定であります。

4点目の1つ目につきましては、庁内連携を行いながら県や民間団体とも情報交換をし、把握に努めております。

2つ目につきましては、県と連携し、推進しております。

3つ目につきましては、県や動物愛護協会で助成を実施しているため、市での助成は考えておりません。

3番目の1点目の1つ目につきましては、今年度のモデル校は1校であります。

2つ目につきましては、モデル校に接近し、リモートワーク環境や安価な長期連泊プラン等を提供できる施設であれば可能と考えております。

2点目の1つ目につきましては、マリンドリーム能生は、今年度、周辺整備計画を策定する予定

であり、親不知ピアパークと越後市振の関については、計画はございません。

2つ目につきましては、現時点では考えておりません。

3点目の1つ目につきましては、地元自治体からも同様の要望を頂いており、今年度、整備をする予定であります。

2つ目につきましては、現時点で観光資源として利活用する考えは、今のところございません。

4点目の1つ目につきましては、地産地消推進店として農産物の消費拡大に取り組んでいただいておりますが、6次産業の拠点となることは難しいと考えております。

2つ目につきましては、運営委託団体の会員数が減少し、運営も厳しくなっている状況ではありますが、高齢者の活躍の場が広がるような取組を検討してまいります。

4番目の1点目と2点目につきましては、原油価格や物価の高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減に資する施策が必要であると考えております。現在、必要な支援策について、庁内で検討を進めております。

3点目の1つ目につきましては、民生委員から負担を感じておるとの声も聞いておまして、サポート制度について検討してまいります。

2つ目につきましては、スマートフォン講座等により、情報格差が生じないように努めるとともに、実態調査について検討してまいります。

3つ目につきましては、例年どおり市民の皆様へ適切な水分補給など、対策について呼びかけてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

鶴本教育長。〔教育長 鶴本修一君登壇〕

○教育長（鶴本修一君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、3月の一般質問でもお答えしましたとおり、今のところ条例制定の考えはありませんが、引き続き子供の権利が尊重されるように子供の立場に立った支援・取組を進めてまいります。

2点目につきましては、ヤングケアラーに限らず、心配なお子さんについては、これまでの要保護児童対策地域協議会において、福祉、教育、子育て支援が連携しながら対応しております。

3点目につきましては、関係する課が窓口となり、求めに応じて生理用品を無償配布する体制を整えております。

また、今年度から全ての中学校において、一部トイレに配置しております。

4点目の1つ目につきましては、施設改修に併せて、検討してまいります。

2つ目につきましては、屋内遊技場は駅北エリアで設置を検討しているところであり、理科教育センターは、旧今井小学校内に設置しております。

3つ目につきましては、やまのい保育園内のめだか園において対応しております。

4つ目につきましては、子育て世代の要望を踏まえながら多くの方から利用していただけるよう

取り組んでまいりたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

それでは、順番を変えまして、大きい2番から、行政改革からお願いいたします。

(1) ①であります。専門家による会計のチェック方法の研修であります。今年の3月定例会でセカンドオピニオンという言い方をしまして、財政のチェックについて提案いたしました。山口財政課長より、経営上どうかという判断については、市内外は別として聞いてみることも一つの手であるかという個人的な見解をいただいたところなんです。そこで第三セクターの過去の会計資料に対して、ポイントとなる部分を解説してもらうような機会をぜひ設けていただきたいと思います。その辺、何か進捗がありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

大変申し訳ないんですが、まだその進捗につきましては、目立ったものを今お伝えする状況にはございません。

また、研修等につきましても、まず職員が会計を理解できてない状況にあったと思います。市の職員は、単式簿記に慣れておりますので、そういった面でいきますと、第三セクターであったり会社さんであります。複式簿記の対応になってくるかと思っておりますので、そちらのほうの研修とか、あと財務諸表の見方、そちらのほうの研修も踏まえながら、今度は経営状況の見方、そちらの検証について研修していければいいかなとは考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

少しちょっと残念な答弁を頂いてしまったんですが、やはり市が関連する会社等につきましては、やはりできないということじゃなくて、やはりできるようにしていただきたいなと思っておりますし、あと研修の機会があれば、また議会のほうにも声かけいただいて、参加させていただけるとありがたいなと思っております。

一応、ここは要望にしておきます。

次、②のことであります。資料説明のときの費目、摘要、書式の統一であります。糸魚川市の会計関係の説明資料では、その都度、形が変わってる印象を受けております。例えば消費税が入ったり入ってなかったりとか、費目を減らしたいためか、複合的な費目に書かれてあったりだとか、先ほどの会計にも通じるんですけども、そういったところを統一的にして、横並びで比較できるよ

うな、そういった資料の作成をお願いしたいんですけども、今後そういった考えはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

3月の議会の中でお示ししました資料につきまして、ちょっと分かりづらい点があったということで、その点は、まずおわびさせていただきたいと思います。

様式の統一につきましては、基本的な様式ということで、年度初めと年度末に頂く報告書類でありましたり、あと業務評価をしていただいたりしますので、そちらのほうの様式は、統一は、ある程度はさせていただいてるんですが、どうしても事業の内容によりまして費目というのが変わってまいりますので、一概に統一できるかどうかというのは、ちょっと難しいところもあるのかなというのは考えております。

ただ、今回、問題になったのが、やはり消費税の関係であったり、似たような項目についてばらばらであったりということがございましたので、そちらのほう、今回作るときにどういった形で説明しやすい、申し訳ありません、分かっていたような形で資料のほうの整理は必要だなというのは強く感じましたので、統一とまではいかないかもしれないんですが、その状況に合わせた説明資料ということで、分かりやすいものをご提出できるようにしたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

そういう考えであるのであれば、特に議員とか議会、委員会等で説明される場合、むしろじゃあポイントを絞った説明の仕方をぜひやっていただきたいと思います。例えば燃料費だとかガス・水道は、ごちゃ混ぜに書かれていると何をどれだけ使ったのかはさっぱり分からない。あと消費税が入ってるのか入ってないのか、一々また計算し直さなくちゃいけない。今回、特に気になったのが、権現荘だったかな、努力項目であったりだとか、広告費をたくさん使って、こういう成果があった、なかった、失敗したとか成功したとかじゃなくて、そのお金をかけてどういった結果になったのかというところを摘要欄でしっかり説明したいし、また、逆に訴えてもらいたいと思うんですね。こういう取組でやった、こういう目的でやった。でもこういうまさに不可抗力であったりだとか不測の事態によって、思うような成果が上がらなかったというような説明が欲しいんですけども、いつも何か概要ばかりで、大きな数字だけ並べ立てて、利益が上がりませんでしたみたいな、格好になってるんですね。だから、そういったポイントを絞った分かりやすいところをぜひ説明していただきたい。

何でこんなにこだわるかといいますと、例えば権現荘について言えば、毎月、能生町観光物産センターと能生事務所でミーティングを行っているとは何度も答弁いただいております。でも、その費目ごとの動きについての検証とか分析のことは、一切説明を受けてないんですね。じゃあ何のミー

ティングをしてるんだらうというふうになってしまいますので、そういった点、改めていただきたいんですけども、その辺の考え、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

これまで資料等が出すたびに、また違うような様式であったこと、大変申し訳ございません。これから、先ほどの答弁のとおり、可能なものは統一していきたいと思っておりますし、保坂議員の言われましたようにポイントを絞った資料を作っていくというふうに思っております。

権現荘の会議についてのご質問でしたので、私のほうからお答えさせていただきます。

昨年度につきましては、権現荘支配人、また事務担当者と月ごとの会議をさせていただいております。

ただ、これについては、やはりどうしても細かいところまで見ることはできませんので、今年度からは、マリンドリームの経営会議本体に参加させていただくことになりまして、先月も私が参加させていただいております。そういった中で、細かい、どこが経費がかかって、どこが問題なのかというところを指摘させていただきながら、毎月を進めていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

特に指定管理者と第三セクターにつきましては、もともとの考え方として、前も言ったかもしれませんが、民間手法を取り入れた効率的な経営というところを行政ではできないであろうからお願いしてるというところなので、一番その部分、民間手法でこういうことをやった。それも先ほども言ったとおり、うまくいくときもあれば、うまくいかないときもあるかと思っております。でもそういうところを、やはり努力した部分というものを明確に伝えていただくと、場合によっては指定管理料が必要であるなどと思えば、また補填もしなきゃいけないと思うでしょうし、逆に、そこまで成果が上がってるのであれば、指定管理料についても、また協議させてもらったほうがいいんじゃないかという話ができるかと思っております。今のは既定路線で、決まったままのものを、ただ決まったようにやってるという、何ていいますか、いわゆる行政的な考え方、予算ありきの考え方、全然民間手法になってないと私は思ってるんですね。もしそうじゃないのであれば、説明いただきたいですし、もしそう思ってるのであれば、早急に改善いただきたいんですけども、その辺の考え方はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えします。

やはり指定管理でございますので、民間手法を活用した運営というのは、非常に大切だというふうに思っております。ですので、基本的には、指定管理者側のやり方というのを優先してまいりたいと思っておりますが、これまでもうまくいってない部分がありますので、そうしたところには意見してまいりたいというふうな考えでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

あと市内の指定管理者の中で、飲食とか鮮魚を扱ってるだとか、いろいろあるかと思うんですけども、そういった、今それこそ食品ロスとかという部分あるんですけども、そういう何ていうのか民間努力でそういうロスを出さないような工夫であるだとか、また今こども食堂だとか、いろんな取組がある中で、そういうところに貢献してますよとか、何かそういう部分がこういう会計の結果のときに出てくると、非常に努力してるな、地域貢献してるなとなるんですが、そういった話というのは、指定管理者のほうから上がってこないものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

やはり今、仕入れ、どんなものが仕入れしているかというお話をさせていただいております。

また、今月、予定より仕入れが多いんじゃないかとか、そういった話も今させていただいております。また、具体的にそれは何かどう影響してるのかというような確認もさせていただいておりますので、地元貢献となるようこれからも話し合っていきたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

ちょっと突っ込んだ質問になるかもしれませんが、こういった費目とか摘要のときに、特に権現荘は第三セクターでよく話題になっているのが、スケールメリットを生かして大量仕入れしたりとかというそういう会計の工夫されてるかと思うんですけども、そういった中身の説明とかというのは、あまりされてないんですけども、そういうところというのは説明ってできないもんなんでしょうか。前も言いましたけど、トイレトペーパーを大量に仕入れして、在庫抱えることによって安価なときに買い取るとか、そういう何か工夫という報告というのは、上がってこないものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

指定管理者側の経営の状況でもありますので、詳細については、今お答えは控えさせていただきましても、私ども会議の中では、先ほど申し上げましたように、何にこれがお金かかっているのかと質問をよくします。それについては、例えば今この燃料高騰の時代で、仕入れ、またそういったものにお金がかかっているということで、それを予測して事前に仕入れをしていて、少し値段が上がっているんだというようなお話も聞いております。今おっしゃるように早めの大量仕入れですとか、そういったことについてもお話はお伺いしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

あと一番気になっているのが人件費なんですけれども、そういったところの工夫とかというのは、あるのでしょうか。先ほども言ったとおり民間は、人件費についても多分いろんなシフトを組んだりとか工夫をされてやってるかと思うんですが、たしかスキー場みたいなものは、そのシーズンに人員をかけて、むしろ安全運営というんですかね、安全運行というか、そういったところに力を入れるのはよく分かるんですけれども。ほかの指定管理者の中では、そういう人件費について工夫をされてるとかという、そういう報告とかというのはあるのでしょうか。あまり委員会等を聞いてると、そういう人件費についての報告ってないんですけれども、そういった努力とかあれば、報告してもらいたいんですが、その辺、話合いの中ではあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

まず、職員につきましては、従業員の雇用と生活を守る取組として、給与については全額補償させてさせていただくという中で取り組んできております。

ただ、それですと人件費の減額につながりませんので、突発的にお願いする職員というのがおりますので、そういったところで人の少ない部分を賄っていくというような対応となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

次、③の雇用調整助成金の給料明細の実態についてということで、個人情報で確認されていないということで、大変ちょっと驚いてしまうんですけれども、ある指定管理者並びに第三セクターに関わる方からのご相談で、今回、質問に上げさせていただきました。

実は、今回、雇用調整助成金を給料明細の中に項目として上がっていると。仮に5万円としましょうか。支給額のところに5万円が書いてあって、下に控除する費目があります、厚生年金だとか社会保険だとか。そこにも、また雇用調整助成という、また項目が書いてあって、そこには5万円て書いてあります。支給額が、例えば25万とした場合に、要は5万円入ってるから、また20万

にプラスされて25万になってると。だけどその控除のほうにくると、控除額がまた5万円で、雇用調整助成金の5万円が減額されている。トータル15万ぐらいの金額になってると。

私の認識ですと、雇用調整助成金というのは、もともとの始まりが8,330円ぐらいで始まって、今回、今上限が1万5,000円の間で、3か月分ぐらいの手当込み込みのお給料の平均値で大体補償しましょうねという話になってたかと思うんですね。だから、給料で払っておくというポーズを取りながら、控除額で引いてる。手元に入る支給額が減額されたまんま支払われているという現状があるんですけども、これっておかしいと思いませんか。まず、この話を聞いて、おかしいと思うか思わないか、ちょっと確認なんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

大変申し訳ないんですが、今議員のおっしゃる内容だけでは、ちょっと判断がつかねることになるかなと思います。その支給額のほうに、どのような形で支給内容を見込んであるのか、なぜその控除のほうに雇用調整助成金ということで上げてあるのかということにつきましては、ちょっと今私の判断では、ちょっとつきかねることになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

今もう初めて聞いたということであれば、ちょっと私、通告書を出してて、残念な気はするんですね。確認しましたかという、何かあるわけですよ。でも確認してなかったということですよ。

何が言いたいかという、これ下手する、下手するって言葉失礼しました。取りようによっちゃ、これ不正受給につながるような格好になるんじゃないかなと思って、心配しとるんです。一部の、個人的な人の給料明細がこうなのか、もう会社全体が、一人も漏れなくこういった支払い形態になっているのか。もっと怖いのが、これが1社、私が聞いている1社、またはその個人だけでなく、市が関わっている指定管理会社、第三セクター、全部同じような指導の下になっているのか。これはちょっと今、報道で騒がれているような持続化給付金の10億円だ何だという話がありますけども、市が関係している事業体の中で、雇用調整助成金を頂いてますと。支払い台帳には、誰々さんには幾ら、誰々さんには幾らという、届け出なきゃいけませんよね。でも実際に届け出た金額が、本人の手元に行っていないということになれば、そのお金はどこに行ったんでしょうという話になります。これ非常に危うい話なんですけども、全然把握されてませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

収益性のあるところが、ほぼ雇用調整助成金を頂いて、ほぼといますか、失礼いたしました。ところで雇用調整助成金のほうの受取りのほうをされていると。それに対して給料としてというか、

本人のほうの支払いはされてるかどうかということは、チェックといいますか、確認しております。

ただ、個人個人の、先ほど申されたような内容について、給与明細がどうかということにつきましては、個人の情報なので、そこまでのチェックはしてないという形になります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

雇用調整助成金ということで、これまでも権現荘の論議が多かったものですから、私のほうもどのようになってるかの確認を取りましたが、先ほどの答弁のとおり個人については確認することができませんが、支払いの方法については、雇用調整助成金は、休まれても9割の助成が出るというのがルールであります。

権現荘ではどうしているかというのと、休まれたとしても、その雇用調整助成金の9割に自社で1割を足し、毎月の職員の給与総額が減額とならないよう、通常の給与額となるように支給をしているということを確認しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

皆さん、総論というか総額的な話で言ってるんでしょうけども、一番困った問題は、皆さんが見ている個人に給与を払ってますよという、そういう報告書なり支払い台帳があるんだと思います。でも働いてる方の手元にお金が行ってないってなると、個人情報だから確かめられない、知らないって、もし言われるのであれば、これ多分とてつもなくまずいことになりますよ。私がコピー頂いた明細で見ても、これ本当にええって思いましたよ。だから、皆さん今、確認してませんと簡単に言ってますけど、これ早急に確認しないと、糸魚川市さんは国の制度使って何やってるんですか。目こぼしなんてもんじゃないですよという話になります。

もっとたちが悪いのは、総支給額の金額から、厚生年金の支払い金額が算出されてるんですが、さっきも言ったとおり控除額から丸々5万円あげるよってやっというて、5万円抜いてるわけですから、本当はその人は、25万じゃなくて20万円の掛け率で18.3%掛けて厚生年金払わなきゃいけないという掛け金になるのに、25万円の総額で掛け金かかって、そこから控除というか引かれてる。2,300円ぐらい余計に持っていかれてる。手元には5万円は来ないわ、掛け金は高くなっているわって。これ別の意味でいくと、多分、文句も言えなくて、泣き寝入りしてる状況ですよ。これは、今すぐでも確認して、これいつからどうなってるのか、何人いるのか、どこの事業体でやってるのか、調べなきゃいけないと思うんですけども、いかがですか。

でももう公文書というか、もう給料明細で明らかに出てますからね。それは個人情報だから、私、見ることでできませんって言う場合じゃないと思いますが、いかがですか。

〔「休憩お願いします」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午後2時50分 休憩〉

〈午後2時51分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

休憩を15分間取りますので、再開を3時5分といたします。

暫時休憩いたします。

〈午後2時51分 休憩〉

〈午後3時04分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

いましばらく暫時休憩いたします。再開を15分といたします。

〈午後3時04分 休憩〉

〈午後3時15分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

いましばらく休憩させてください。

〈午後3時15分 休憩〉

〈午後3時28分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

先ほど申し上げましたように雇用調整助成金は、権現荘が結構もらっていますので、権現荘を例に例えてご説明させていただきたいというふうに思います。

手元に見本の様式だけ手に届いております。それを見ますと、基本的な給与につきましては、先ほど申しあげましたように10割、満額の補償をしております。例えば20万円の基本給の方であれば、20万円をそこに記載すると。そのほかに雇用調整助成金でどの程度の補填がされているかというのを明記します。その金額については、収入として足してしまいますとおかしくなりますので、控除のほうで、その金額をそのまま引かせていただく。例えば20万円の基本給を頂いてる方が、雇用調整助成金で、その基本給のうちの2万円を頂いてるとすれば、その部分については収入と支出に両方明記して、20万円のもとの給与分、満額を担保するということになっております。

この書き方につきましては、職安の指導により行っているということでございますので、先ほど保坂議員おっしゃったような、給付が頂いたものより少ないんじゃないかなというような話にはならない、適正な処理になっているということを確認させていただきました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

ただいま保坂議員から雇用調整助成金のご質問でありますけども、雇用調整助成金が、まず対象となった指定管理者施設の把握のリストを挙げて、対象をちょっと把握させていただきます。そのことと、指定管理者がきちっと、複雑なものもございますので、きちっと従業員に説明を申し入れるということで、この2点につきまして、その結果を各施設の所管の委員会のほうに報告させていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

今ほどの説明、ありがとうございます。当初の基本給が満額補償しているところが、私は理解できておりませんでしたので、そこは私も訂正というか、謝りたいと思います。

ただ、別の角度で気になったのが、それ相応の年齢の方が、会社で働いていく金額として非常に、すみません、金額が低い印象を受けてしまったものですから、そこからそういう差引きされてるといふのであれば、とてもたまったものじゃないなというような印象を受けた金額だったので、逆に言うと人件費をそこまで切り詰めて、頑張ってる割には赤字が出てるのは何でだろうと、新しい疑問も出てくるんですけども。いかんせん今の私の指摘に対しては、ちょっと丁寧な説明をしてくださるということなので、そこは理解しますので、今後こういう誤解を招かないような表記の仕方であるとか、ぜひ行っていただきたいというふうに、これはお願いをしておきます。

この件は、これで終わりにさせていただきます、次の④の不可抗力のリスク分担の算出方法を確立しているかというところに行きます。

これが実は、先ほどの雇用調整助成金の金額が、ちょうど694万2,000円だったんですね。私は疑ったんですよ。今回1,020万の補填から290万にしたのが、大体730万だったので、

この雇用調整助成金をそのままプールして、移行したらちょうど金額が合うんで、そういうことをされたのかなと正直、疑ってました。

それで、改めて聞きます。

1,020万の補填金額を算出して、290万で済んだというのを建設産業常任委員会で説明されたようなんですが、当初の質問でも言ったとおり概略とか概要にとどまってるものですから、この差額が何でこういうふうに出てきたのか。議会まで予算組んで通して、本来なら褒められるべきことなんですけれども、額を減らしてるわけですから。ただ、この短期間の中にここまで減額できるという、言葉悪いですけど、からくりとか、そこはぜひこの機会に説明していただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

補正予算を組んだ時点では、週2回のお休みをしておりましたが、その後、週4回のお休みを当時しておりました。そういったものから、雇用調整助成金を含む補填金額につきまして約360万円。そのほか売上げが、3月の後半に売上げが急に上がってきたところがありましたので、コロナの落ち着きとともにですが、その売上げが160万円、これが増加になっております、見込みより。そのほかに支出の減が230万円の減額になっておりまして、大変ちょっと申し訳ない、約でございまして、合いませんけども、結果的に730万円が予算残として残させていただいたという、大まかな内訳でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

確かに数字を聞けばそうなんですけども、その要素、これは本当にプロである皆さんが予測不能であった内容だったということによろしいでしょうか。それとも何かコロナの関係でいろんな緩和があったりとか、キャンペーンがあったからこうなったというふうな解釈でよろしいのか、その辺ちょっと、もう一度お願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

これは予想できたかということでございますけども、やはり売上げの増については、予測できておりませんでした。これは3月の後半、一気に宿泊客が増えましたので、その見込みということで、我々も見込んでいないところでありました。支出の減につきましても、かなり厳しく見たつもりではあったんですが、さらに支出を抑えてもらったということでございますし、そのお休みした

ことによって、雇用調整助成金の補填金が上がってきたということでありますので、予想できたかと言われると、予想よりは多額の残金となったというふうに思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

私も疑ってしまった理由は、権現荘との関係者とか、また利用者等の声を聞くと、あまり2月、3月、何か大きなサービスを変えたとか、何かそういう努力をしたとか、そういうのがあまりなかったという、そういう聞き取りもあったもんですから、そういう雇用調整助成金を補填したのかなというふうに理解していましたので、今回、改めて訂正させていただいて、健全な経営をやっていたというふうに理解したいと思います。

これは一旦、これで終わりにします。

続きまして、(2)の市の職員の職場環境整備についてであります。

今回、私なぜこんな提案をしたかといいますのは、今、全国のいろんなニュースや報道を見ますと、いろんなパワハラだとか、いろんなトラブルのときに必ずやっぱり録音、ICレコード等の録音が出てきます。皆さんは、紳士協定でないですけども信頼関係の下、いろんなお話をされているんですけども、やっぱりもうこっちがどういうふうに考えていようが、やはりそういうICレコーダーだとか、そういうスマホですら録音できますからね。そういったことを逆にオープンにして、そういう中でやっていったほうが、何ていうのかな、疑いながら話するんじゃないか、そういうオープンな形で話していこうという、覚悟を示す意味でそういう制度を取り入れたらどうかというところであります。

ただ、内容によってはやはりそれもなかなか難しい問題もあるかと思いますが、少なくともそういう気持ちで、人に指されることのないというスタンスで会議なり相談なりをしてもらえればと思うんですが、そういうルールづくりとまでいなくても、そういう指導制でぜひやっていただきたいと思うんですが、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

議員おっしゃるようにパワハラ等の抑制につきましては、録音等の手法を使うのは効果があると思っておりますが、逆にそれをするによって、いわゆる本音の話といたしますか、真実といたしますか、素直な話ができない可能性も出てまいります。時と場合によるかとは思いますが、明らかに、例えばパワハラ等が感じられる場合は、そういう手法も取ることも可能だと思っております。その辺はどういう場合に必要かというのは、もう少し検討させていただければと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

私もしつこいと思われるかもしれませんが、やっぱり立場の違いであるとか、地位の差があったりすると、やっぱり怖いですよ。後で仕返しを食らうんじゃないかとか、今ここで俺が我慢しとけば事は済むんじゃないかとか、そういうのがよぎると思います。ただ、それが増幅していくと、いろんなところに波及していくもんですから、やはりそういう会話では、オープンな会話という、お互いに録音しているんだというぐらいのつもりで、言葉を選んで話してもらったほうが、私はよろしいかなと。それに付随して行って、やっぱり公益通報というものも、やはりこれおかしいな、正規のルールじゃないなということは、やはり勇気を持って言ってもらいたい。そんなときの根拠になりますからね、そのテープなり録音なりというのが。そういう意味で、ぜひ進めていただきたいと思いますが、微妙な感じの、進め方で今検討していただくということなんで、それを信じておきたいと思います。

これは閉じさせていただいて、次のリトルベビーハンドブックの導入であります。

これにつきましては、これまでの母子手帳ですと非常に1,500グラムですか、それ以下のお子さんたちの成長記録が書くところがなくて、本当に小さく、かわいらしく生まれたお子さんが、親子の記録がとどめられないということで、静岡県で、それについて何とかしようということで母子手帳を新しく作ったと。同じように悩んでおられる方が、神奈川県にもおられて、それについて何とかしようとしたから国のほうに話が行って、今回、母子手帳から親子手帳に変えていこうという動きがあります。そういった中で、全ての子供たちがやはり、何ていうのかな、家族に支えられて成長していくという、そういうあかしになるもんですから、こういった取組はぜひ前向きに推進していただきたい。

また、県の手帳を使ってるということなので、県が、そうなれば自動的に糸魚川もそうなるんでしょうけども、ぜひこういうのを導入していくほうに強く声を上げていただきたいんですけども、その辺いかなるもんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

新潟県でも昨年の末に県内のそういった低出生体重児の親の会からの要望も受けまして、令和5年度作成に向けまして、現在動いているところでございます。策定の中では、利用される方、また市町村への意見照会等もありますので、そういったものを活用しながら、そういった対象となるご家庭にも対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

続きまして、（4）動物愛護の推進であります。

多頭飼育については、何度も取り上げさせてもらってるんですが、たくさんケースがあるわけじゃないんですが、時折やはり多頭飼育のことで情報を頂いて、大変なんだということがございます。

確かに県の所管ではあるんですけども、やはり市内の中で、繰り返しになりますが、福祉関係、環境生活課関係、あと総務課になるんですかね。そういったところで、あと健康増進課とか衛生面だとか、そういう部分も含めて、やはりちょっと各課横断的な対応をやっぴり明確にして、対応してもらいたいと。自分とこじゃないというふうな認識じゃなくて、チームとしてそういう対応をしていただかないと、高齢者で独り世帯ですと、施設に入ると、もうその後のことは誰も知らないとか、本当に家族が連絡つかないとか、そこにいる動物たちもかわいそうですし、またほかに行って、またいろんなふん尿の問題になって、また周りの、近所に迷惑がかかるということで、所管ということよりも、地域の衛生上を含めて、ぜひ横断的にやっていただきたいんですけども、その辺の考え、いま一度確認させてください。お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

1件事例をお示しさせていただければと思っております。

昨年度、不幸にしてわんちゃんが、飼い主が入院したことによって死んでしまったという事例がありました。そういったことを問題視した中で、昨年4月になりましたけども、県、上越動物保護管理センター、また、愛護団体である、しっぽのなかま上越、地域包括支援センター、福祉事務所、環境生活課と集まって、今後の対策を行ったところであります。こういった体制づくりも含めて、今後もこういったことで、横断的な連携をもって動いていきたいというふうに考えておりますので、よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

ちょっと順番変えまして、大きい1番の子ども・子育て支援の（4）糸魚川市で子育てがしたくなる施設整備についてであります。

①の保育園等の汚れた外壁の工夫というんですけども、私の地元の保育園は30年ぐらいたってまして、もともと壁が白いんです。そこに水あかといいますか、黒い筋がびいっとあるんですね。非常にくすんでおりまして、子供たちが元気に登園していくには、非常にちょっと元気が出ない壁になっておりまして、当然、建て替えが、あと何年ぐらい、四、五年たてば、計画に盛られるのかもしれませんが、あまりにもちょっと汚れてるものですから、そこはちょっと塗り替えとか、後、場合によっちゃトリックアートみたいなもので、ちょっとかわいらしい動物がのぞいてるような絵にさせていただくとか、そういう工夫をぜひしていただきたいんですけども、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

私も4月以降、各園のほうを回らせていただいて、今お話にありました大野保育園、白い壁ということで、風に当たって塗装が剥がれてる部分、また議員がおっしゃった黒い筋のようなものも出てる部分というものも認識しております。ほかにも、ほかの園も見て、直さなきゃいけない園というのがありますが、そういった中での壁へのいろんな工夫を凝らした、子供たちがよくなるようなもの、いろいろ考えられるかと思っております。例えば保護者と一緒になって、少し絵を描いてみるとか、そういったことも工夫の一つだと思っておりますが、現在のものでしばらく維持といたしますか、できるかどうかも含めて、もう一度、現地のほうを確認させていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

またちょっと順番飛ばしまして、一番最後の大きい4番の地方創生臨時交付金のところであります。

ぜひお願いしたいのは、学校給食、また介護施設等の食事等で今、物価高騰なんですけども、こういった負担軽減というのをぜひしていただきたいんですが、その辺の施設からの要望等はありませんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

原物価格と物価の高騰対策ということで、生活分野と産業分野あるんですけども、今、保坂議員おっしゃったのは生活の分野だというふうに思っています。この部分については、早急な対応が必要だということで、私ども今予算措置に向けて、最終の詰めをしているところでございます。なるべく早く皆さんのほうに提案できるように詰めているところでございますので、ご理解お願いしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

そうしますと、この産業支援のほうになるんですけども、農機具、船舶等の燃料等、あと、今ここへ来て、肥料等も何か高騰してるということでありますので、そういった支援についても検討していただけるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

お答えいたします。

確かに燃油、それから肥料等の高騰が今大きな社会問題にもなってるかと思えます。そういった中で、なかなか農業の場合は、生産コストの上昇分というのを価格転嫁することができにくい業態であるかと思えます。

今ご提案の部分につきましては、私どもも調査・検討を進めているところではあります。また、国・県等においても検討が進められているようでもありますので、そういったところとの整合性も図りながら、時期を見て対応してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

トラックなどの地域の物流の維持につきましては、市内には38社の運輸業、郵送業に区分される事業所がございます。これら以外にも卸売業や小売業、またサービス業など、市内の物流に関連する事業所は数多くございます。業種にかかわらず、原油価格の高騰分を販売価格やサービス価格に転嫁しているかは、各事業者により取扱いが異なることが想定されますので、検討が必要だというふうに考えておりますが、今後、やはり現状を勘案しながら、補助・助成等を考えていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

あとちょっと私、福祉支援事業という名目で打ったんですが、生活支援になるかと思うんですが、以前、健康増進課で対応していただいたんですけども、高齢者等の必要な情報について、チラシみたいなものを作っていただくとか、あとスマートフォンでちゃんと自分の欲しい情報に飛ぶように、QRコードのついたそういったチラシみたいなものを、ぜひ各課でもしそういう相談を受けたときには、冷蔵庫に貼っておけるようなチラシで、分かりやすいものをぜひ提供できるようなサービスを考えていただきたいと思いますと思うんですが、その辺、各課、全体に対応できるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林市民部長。〔市民部長 小林正広君登壇〕

○市民部長（小林正広君）

お答えいたします。

高齢者、特に高齢者、やはりいろいろな情報がなかなか分かりにくい、あるいは通常のパソコンの奥まで入っていかないと分からないような情報、そういったのはたくさんあると思いますので、健康分野、福祉分野等々、分野に限らず、極力そういったところにいろんな形でつながっていける

ようなものを工夫して、お知らせしてまいりたいというふうに思っております。よろしくお願ひします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

最後になりますが、一番最後の今夏のエアコン不足の想定というところであります。

何か聞くとところによると、高校とかだと製氷機とか冷水機とかある学校が、ほかにはあるらしいんですけども、エアコンだとか熱中症対策にやっぱり氷とか冷水があると非常にいいということなので、もし資金的にあれば、そういう製氷機、氷を作る製氷機だとか、冷水機の導入をぜひ検討していただきたいと思うんですが、そのような考えはあるんでしょうか。特に学校等にあると便利かなと思いますけどいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 豊君登壇〕

○教育次長（磯野 豊君）

小中学校につきましては、国の補助を利用しまして、今エアコン等、ついております。

ただ、今回、工事のほうでエアコン不足というところもあるようですので、各学校の実態を把握しながら、熱中症対策、氷に限らず、どんなことがあるのかということも含めて検討させてもらいたい。熱中症にならない対策をさせていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

保坂議員。

○11番（保坂 悟君）

エアコンも機械ですので壊れる場合もあります。製氷機も壊れますけども、ただ、伏線としてそういう対応ができれば、子供たちの安全につながるなということでぜひお願いいたします。

以上で、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、保坂議員の質問が終わりました。

ここで、暫時休憩いたします。再開を4時5分といたします。

〈午後3時53分 休憩〉

〈午後4時05分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、利根川 正議員。